

令和 5年 5月 31日
横浜市立笹野台小学校



笹小だより 6月号



「ありのまま」を受け入れる勇氣

校長 佐々木 和美

紫陽花が雨に濡れ、日ごとに色を濃くしています。天気予報では梅雨前線がじわじわと伸びてくる様子を伝えており、間もなく梅雨入りのタイミングかと思われます。本校では6月に日光修学旅行や上郷宿泊体験学習、土曜授業参観、体力テスト等の行事や活動を数多く計画しています。晴れるのに越したことはありませんが、雨天であっても子どもたちが思い切り活動できるよう雨天プログラムも充実させています。

さて、本校の学校経営方針等については、4月の学校だよりやホームページ等でお知らせしているところですが、各学級や学年でもめあて・目標について話し合いを行いました。

子どもたち一人ひとりも自分を見つめ、目標を掲げました。目標を立てた後にすべきことは、現状「ありのまま」を受け入れることです。実はこの工程を怠ると、何を、いつ、どのように努力を積み重ねていくかという計画を立てることができません。大リーガーの大谷翔平選手の目標達成シートは有名ですが、現状と目標との間にある課題を明らかにすることで、絶え間

ない努力を続け成果をあげることができます。短期的な目標も、今は無理だと誰もが言う夢の実現も、子どもたちには決してあきらめてほしくありません。人と比べることなく自分のよさや未熟な部分を丸ごと受け止め、時にはくじけても、またすぐに前を向いて自分なりのやり方で、なりたい自分を求めてほしいと思います。

よく「強みを生かす」「良い面を伸ばす」と言われますが、それは自分をとことん見つめなければ分からないことです。もしかすると「ありのまま」を受け入れることは苦痛を伴う場合もあるかもしれません。「自分とは本来こういう存在である」と信じて疑わない自分とは異なった面を発見し、戸惑うからです。しかし自分の強みや良い面だと思っていたことが実は他のことだったなんて捉え違いをしていたら、努力の方向を変えなければなりません。

笹野台小学校の子どもたちは、挨拶のよくできる元気で明るい子どもたちです。異動してきてまだ2か月ですが、校長として本当に嬉しく思っています。しかし、そういった良い面ばかりに目を向けていては、よりよい笹野台小学校を創ることはできません。良い面もそうでない面も丸ごと受け入れるべきです。教職員どうし互いにより高みを目指し日々話し合ったり研鑽したりしているところですが、保護者・地域の皆様方にも多方面から笹野台小学校を見つめていただき、本校の良い面、改善すべき点についてご指摘いただきたく存じます。そのことが「ありのままの笹野台小学校」をより正確に捉えることになり、耳が痛いことであったとしても、私たちが正しい課題解決の方法をとることができると信じています。

目標…あるべき姿・目指す姿

課題

目標とありのままの
学校・子どもの差

目標（あるべき姿・目指す姿）－現状＝課題

ありのままの姿